



学校だより

10月号(第550号)

令和3年9月30日

横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって ががやきつづけるすみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～



失った日々をなげくより、今を大切に歩いていこう！

校長 栗原 信一

9月1日に分散登校が始まり1か月が経とうとしています。コロナ禍にあっても季節は確実に移ろい、街のあちらこちらで秋を感じることができます。9月は、正門の金木犀の甘い香りや列をなして咲いていた彼岸花、中秋の名月など、コロナ禍にあっても秋を楽しむことができました。また、この分散登校期間も滞ることなく児童の登下校の安全を日々見守ってくださったPTAの皆様、そして交通安全サポーターの皆様にご心より感謝申し上げます。

9月、子どもたちは隔日の変則的な登校でしたが、一步一步成長していることを感じます。各自に貸与されたGIGA 端末(iPad)の操作にもどんどん慣れ、オンラインでの朝の会、そして授業等、できることを一つ一つ増やしていきました。今後、休校等になった場合、この一か月の学びと経験は、きっと大きな意味を持つことになることと思います。ご家庭におけるサポートもありがとうございました。

さて、この一か月の間は、様々な決断に迫られる日々が続きました。6年生の日光修学旅行、5年生の富士宿泊体験学習は、9月中旬、残念ながら中止としました。決断にあたっては、教職員で何度も検討を重ねましたが、その際の最終判断基準は、「児童の安全を最優先に！」という言葉でした。特に6年生にとって修学旅行は小学校生活のメインイベントです。それだけに私も中止の判断に至った経緯について直接教室で6年生に話をさせていただきました。中止の理由について一つ一つ説明しましたが、6年生は、残念な知らせにもかかわらず、真剣な眼差しで、終始、私の話に耳を傾けてくれました。そんな姿を見ると残念な中でも6年生の心の成長が伺えました。現在、宿泊行事に代わる日帰り旅行を検討しています。こちらも今後の社会情勢を見ながら慎重に検討、計画したいと考えております。この他の行事では、秋のすみれ運動会も2週間延期し、10月30日(土)の午前開催としました。今年度の運動会も昨年同様、密を回避しながら、各学年、徒競走・演技の2種目での開催となります。こちらも児童の安全を最優先に考え、今できることを一つ一つ積み上げながら、子どもたちの最高の演技、そして笑顔を引き出していきたいと思っております。

先日閉幕した東京パラリンピックでは、パラアスリートの素晴らしいパフォーマンスから、多くの感動と励ましをもらいました。パラリンピックの父と呼ばれるグッドマン医師の言葉がふと心をよぎりました。「失ったものを嘆くのではなく、あるものを生かそう。」これは、パラリンピックの理念となっている有名な言葉です。まさに、未来を見つめた前向きな言葉であり、それを体現していたパラアスリートの姿は、素晴らしかったです。この理念は、今の子どもたちに置き換えるならば、「失った日々をなげくより、今を大切に歩いていこう」と言うことができるのではないのでしょうか。

緊急事態宣言も解除され、いよいよ10月4日より通常登校が始まります。コロナ禍にあっても多くの制約を受けてきた子どもたち、このような中でも明るく元気に学校生活を送るすみれっ子の姿を教職員一同、チームで見守り、支援していきたいと思っております。

地域、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。10月もよろしくお願いたします。